

基礎生命科学・多能性幹細胞

「知っているつもり」から「確かな理解」へ。

研究開発・製造・品質管理・営業と、職種は異なっても、再生医療・バイオ産業に携わる者として、生命科学に関する基本的な知識と全体像を学ぶことは必須です。本プログラムを受講して、断片的に耳にしてきた知識を整理し、現場での判断力と説得力を確かなものにしましょう。

基礎生命科学Ⅰ

細胞・遺伝子・タンパク質

9/8 (火)

13:30～16:30

細胞の基本構造から情報の流れまで、生命現象を支える「設計図」を整理します。

【内容】

- 細胞膜・オルガネラ・細胞外マトリクスの構造と機能
- セントラルドグマと細胞状態の制御機構
- 細胞の増殖、分化、老化、細胞死
- 受容体とシグナル伝達経路
- 細胞接着と細胞間情報伝達

講師：今本 尚子 氏（滋慶医療科学大学大学院 教授）
目加田 英輔 氏（滋慶医療科学大学大学院
教育・研究開発センター 所長）

基礎生命科学Ⅲ

微生物・免疫・バイオ医薬品開発

9/15 (火)

13:30～16:30

感染リスク管理から抗体医薬まで、製造・品質管理に直結する免疫・微生物学の知識を学びます。

【内容】

- 細菌・ウイルス・真菌の特徴と制御
- 液性免疫・細胞性免疫の仕組み
- アレルギー・自己免疫疾患・腫瘍免疫
- 免疫系を利用した医薬品開発の潮流

講師：榊原 修平 氏（滋慶医療科学大学大学院 教授）

基礎生命科学Ⅱ

発生・形態形成・幹細胞生物学

9/10 (木)

13:30～16:30

「ヒトのからだはどう作られるか」ー再生医療の科学的源泉となる発生生物学と形態形成・組織幹細胞の知識を学びます。

【内容】

- 受精～胚葉形成と主要臓器・組織の分化
- モルフォゲン（ShhやBMPなど）の機能
- 転写因子カスケードと細胞分化
- アポトーシスと形態形成
- 組織幹細胞（神経・造血・間葉系）の特徴

講師：和中 明生 氏（滋慶医療科学大学大学院 教授）

多能性幹細胞

9/29 (火)

13:30～16:30

多能性幹細胞、主としてiPS細胞を用いた再生医療研究、再生医療等製品の開発、製造、iPS細胞を用いた創薬研究に必要な前提知識として、iPS細胞に関する科学的基礎知識を学びます。

【内容】

- 多能性幹細胞、特にiPS細胞の概要、科学的基礎
- iPS細胞を用いた再生医療
- iPS細胞を用いた難病研究、創薬

講師：林 洋平 氏（公益財団法人京都大学iPS細胞研究財団
研究開発センター ユニット長）

会場

Nakanoshima Cross 15階 滋慶医療科学大学・大学院 教育・研究開発センター（京阪中之島線 渡辺橋駅徒歩5分）

参加費 (税込)

- 各 25,000円（中之島クロス入居者20,000円）
- 基礎生命科学Ⅰ～Ⅲセット
60,000円（NQ入居者45,000円）

セット受講
が
お
得
で
す

★研修終了後の理解度チェックに
合格された方には修了書を発行いたします。

お申し込み

WEBフォームまたはメールでお申し込みください。

<https://nq-cdmolearningbox.online/>
Mail: info.cdmolearningbox@jnc.juhs.ac.jp



一般財団法人未来医療推進機構

中之島クロス高度CDMO人材育成事業 事務局

運営受託：学校法人大阪滋慶学園

滋慶医療科学大学・大学院 教育・研究開発センター

〒530-0005

大阪府大阪市北区中之島4丁目3番51号

Nakanoshima Cross 未来医療R&Dセンター 15階

TEL：06-6225-7680 E-mail：info.cdmolearningbox@jnc.juhs.ac.jp